

たっしやかいね 冬号



目次

新年のご挨拶、災害時対応訓練	2頁
院内活動 ☆ ニュース	3頁
「CT診断装置」更新	4頁

7月19日「オカリナコンサート」(市立輪島病院 1階エントランス) 演奏:「オカリナサウンズ のとの風」の皆さん

基本理念

「心の通う医療サービスの提供」

地域の中核病院として、行政機関、医療機関、介護施設と連携し、地域に必要な医療を公平・公正に提供し、住民の生命と健康を守るため、多様化する医療需要に対応できる医療環境の整備を図り、医療を受ける人の立場での診療や看護につとめることを基本とする。

基本方針

1. 救急や災害医療等、地域に必要とされる医療を提供し、住民の健康の維持・増進に努めます。
2. 医療従事者の教育・研修等、職員の不断の研鑽により、質の高い医療の提供と地域の医療水準の向上に努めます。
3. 患者の権利と尊厳を尊重し、思いやりの心で気持ちのよい接遇に努め患者中心の医療を推進します。
4. 安心して医療を受けられる環境を整備すると共に、職員の教育を徹底し、より安全な医療の提供に努めます。
5. 公共性を確保し、合理的かつ効率的な病院経営に努め、健全で自立した経営基盤を確保します。



新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。



日頃から、市立輪島病院の運営に対しご支援ご協力をいただき心よりお礼を申し上げます。

さて、元号が改元された昨年、当院におきましては2つの大きな取組を行いました。

その1つがCTの更新です。平成20年の導入以来、11年振りの更新ではありましたが、最新の機材を導入することができ、これまでの装置に比べ被ばく線量が低減されるだけでなく、撮影時間の短縮や造影検査使用時の造影剤の量の低減など、患者さまにやさしい検査を可能といたしました。

次は、昨年12月に受審いたしました、(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価です。当院では約5年前の初めての受審以来2度目となりますが、この評価は、国内の病院を対象として、組織全体の運営や提供される医療について中立的・科学的・専門的な見地から実施されるものであり、全国で約3割の病院が受審しています。今回の受審では、おおむね良好な評価をいただけるものと考えておりますが、前回の受審では、どのような点が欠けているのかといった再発見・再構成にもつながったこともあり、本年2月頃に届く評価結果通知をもとに、当院の医療の更なる機能向上及び質の改善につなげていきたいと考えています。

また、本年は診療報酬の改定時期でもあり、そちらの動向も注視していかねばなりません。当院といたしましては、地域における中核病院としてニーズに合った医療の提供を継続するとともに、地域の皆さまに信頼され愛される病院づくりに職員一丸となって取り組んで参る所存ですので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

院長 品川 誠

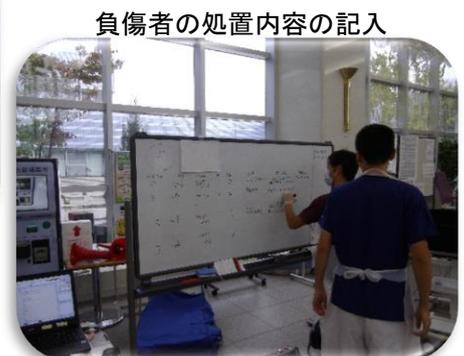
災害時対応訓練(10月19日)

震度7の地震発生により、家屋の倒壊、火災、交通事故等で多数の負傷者が当院に搬送されるという想定のもと、主にトリアージ(緊急・重症度選別)の訓練をおこないました。

各人の役割を認識して、具体的にどのように行動すればよいかを考えることとそれぞれの担当の速やかな対応を知っていることが大切だと感じました。実際に災害が起こった時に迅速に動けるように今後も訓練を重ねていきます。



負傷者のトリアージ



負傷者の処置内容の記入

院内活動 ☆ ニュース

インターンシップ 輪島高校2年生（7月23日）



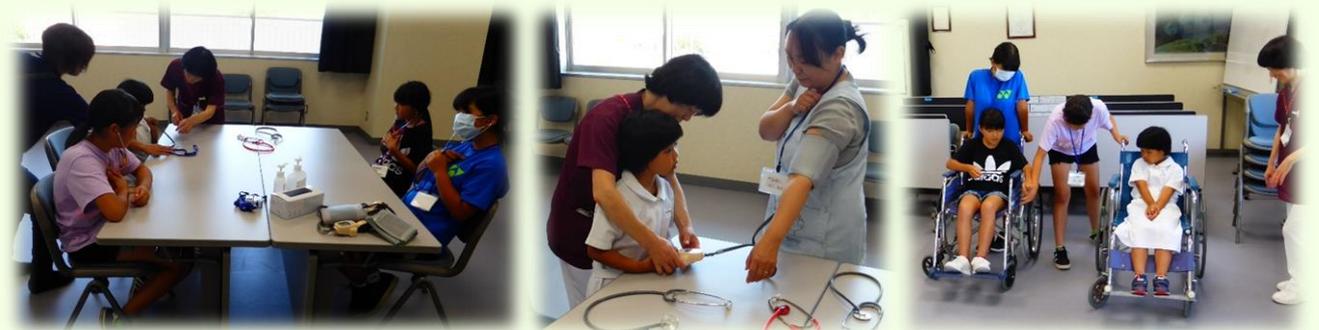
輪島高校から4名の生徒がインターンシップで当院を訪れました。院内のさまざまな場所を見学し、テレビドラマ「ラジエーションハウス」で注目された放射線科では、スタッフの説明を聴きながら、実際にX線TV装置などの機器を操作しました。見学を終えて、「普段は入れない場所に入れて良かった。」や「色々見れて、面白かった」などの感想が聞かれました。放射線部スタッフから一言・・・興味を持って勉強を頑張れば、誰でも技師になれます。ぜひ考えてみてください。

中学生職場体験 輪島中学校・東陽中学校2年生（7月25日・26日）



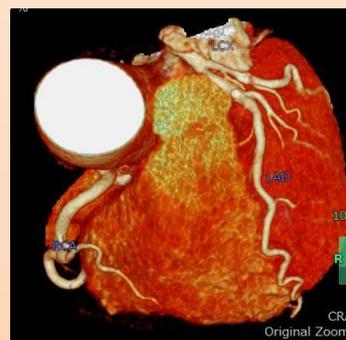
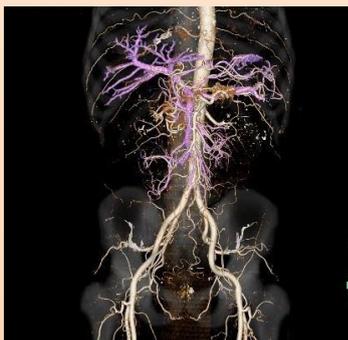
輪島中学校から11名、東陽中学校から2名の生徒が職場体験のため、当院を訪れました。検査室の見学では、治療に必要な検査機器の使い方についてスタッフから説明を受けていました。その中でも採血後に技師が担う業務として、赤血球や白血球など血液の成分を顕微鏡で見て数えるという作業があり、一人ひとり興味深そうに顕微鏡を覗いていました。検査部スタッフから一言・・・カラフルな標本を顕微鏡で見るなど、理科の授業のような楽しいお仕事です。

病院に行ってみよう～病院のお仕事って？～（7月31日）



子育て支援センター・児童センターの事業の一環として児童4名が当院を訪れました。実際に聴診器で自分やお友達の心臓の音を聴くなどの体験をしました。また、車椅子に乗る側、押す側をそれぞれ体験し、押す側のときには、乗る人の気持ちを考えながら押していました。看護部スタッフから一言・・・病院はいろんなお仕事をしている人たちがいることを知ってもらいました。将来のお仕事を決めるとき、この日のことがきっかけだったらうれしいです。

放射線部 … 「CT診断装置」更新



昨年9月、「CT診断装置」を最新型に更新しました。これにより、以前の装置に比べ被ばく線量が低減されるだけでなく、撮影時間も短縮され、造影検査でも以前より少ない量の造影剤で済むようになります。

〔CTとは・・・コンピューター断層撮影を英字で（Computed Tomography）の頭文字をとった略称。ドーナツ型の機械でX線管球が回転して人体の中の輪切り画像を撮影する検査のことです。〕

新しい装置では、小さく細い血管などの撮影や細かい骨折なども高解像度の撮影で抽出可能となり、ペースメーカーを装着された方で圧迫骨折や骨挫傷などの診断にMRI検査ができなかった患者さまにおいても診断できるようになります。緊急を要する検査に欠かすことのできない装置で、県内の公立病院の中でも、最新型の高性能な装置となります。

今後も病気の早期発見・早期治療に向け、地域医療に一層貢献できるよう検査を行ってまいります。

放射線部 スタッフ一同

編集後記

新年明けましておめでとうございます。年末年始は、大掃除、年賀状、笑い初め、初詣などイベントつづきの方も多かったのではないのでしょうか。今冬は暖冬といわれていますが、これからが冬本番。お体には十分気を付けてお過ごしください。皆様にとって良い年になりますようお祈りしています。

編集：市立輪島病院 広報厚生委員会 広報誌担当